

山形県の教育目標 (第5次山形県教育振興計画)

知徳体が調和し、「いのち」輝く人間の育成

- テーマ 山形の教育 「いのち」そして「まなび」と「かかわり」
- 基本方針
- 1 「いのち」を大切に、豊かな心と健やかな体を育てる
 - 2 「まなび」を通して、自立をめざす
 - 3 広い「かかわり」の中で、社会をつくる
 - 4 学校と地域を元気にする

重点施策テーマ

変化する時代を主体的に生きぬく力をはぐくむ「いのちの教育」

平成24年度の社会教育の推進・生涯学習の振興にあたっては、第5次山形県教育振興計画の後期計画に基づき施策を展開します。

重点施策として、「いのち」と「かかわり」を、社会教育・生涯学習の中心にとらえ、これまで同様に「いのちの教育」の基礎づくり、社会力の育成、社会教育・生涯学習の環境づくりを継続し、これら3つの柱を中核とし、変化する時代を主体的に生きぬく力をはぐくむ「いのちの教育」をめざしていきます。

また、平成23年度から2箇年をかけ策定する「山形県生涯学習振興計画」を、第5次山形県教育振興計画の社会教育・生涯学習領域の内容を補足するものと位置づけ、本県の社会教育・生涯学習の実態や課題、今後の方向性等を示していきます。

重点施策

1 いのちの教育の基礎となる家庭教育と幼児期の教育を支援する

すべての教育の原点である家庭教育については、家庭の教育力向上のために、すべての親への学習機会や情報提供等により、身近な地域における家庭教育支援の基礎作りに努めます。

また、家庭、幼稚園・保育所等、地域のすべての大人が連携して幼児期の子どもにかかわりながら、共に育む「幼児共育」を推進するために、幼児共育アクションプログラムに基づく実践活動を県内4地区で広く展開することにより、幼児期の教育の充実をめざします。

- (1) 家庭教育支援の充実
- (2) 幼児共育の推進

2 かかわりの中で子ども・大人の社会力を高める

家庭、学校、地域が連携した、子どもたちが地域の人々とかかわる機会や自然体験、読書活動等の場を充実させ、人の役に立つ喜びや、周りの人々への感謝の気持ちを涵養する中で、子どもたちの社会力を育成するとともに、大人自身の社会力の向上や地域の教育力の向上をめざしていきます。

また、青年が集い交流し、学びあいながら地域活動を実践する場を設定することにより、他者とかかわる力や青年リーダーの育成に努めます。

- (1) 青少年の体験活動、読書活動の充実と地域とのかかわりを創出する仕組みづくりの推進
- (2) 青年の交流、地域参画の推進

3 かかわりの機会を充実するための環境をつくる

社会教育を充実させるため、社会教育行政にかかわる職員の指導力の向上、推進体制の充実、社会教育関係団体の支援を図るとともに、教育事務所と連携して市町村の社会教育行政をよりきめ細やかに支援していきます。

また、社会教育施設が、個人の要望や社会の要請にこたえる魅力ある生涯学習の拠点施設として機能するよう整備・充実に努めます。

- (1) 社会教育推進体制の充実
 - ※ 山形県生涯学習振興計画の策定(平成23～24年度)
- (2) 少年自然の家での魅力的なプログラムの開発、社会教育施設の整備・生涯学習環境づくりの推進

2 平成24年度 社会教育・生涯学習振興 施策体系

